

参考資料-1 R6 年秋季例大祭奉納行事に関する本当屋寄り（第1回）資料

出席：成清、松本、中田（猛）、木本、竹本、中田（真）、末國（栄）、坊田、末國（富） 9名

日時：R6 年 3 月 3 日（日） 8 時半～9:45
場所：大坪常会集会所

1. 本日の会合で決めておきたいこと

(1) 例大祭の日程

10 月 19 日（土）、20 日（日）でよいか。 このとおり決定

(2) 準備のための会議日程

本当屋寄り日程：毎月第 2 日曜の 8 時半～ かどうか。 （第 1 日曜は自治会の草刈り）

4 月 14 日、5 月 12 日、6 月 9 日 このとおり決定

7 月以降は別紙（成清総代作成）による。 このとおり決定

(3) 余興神楽は呼ばないことで良いか。

(4) 小注連縄は購入することで良いか。 購入する。成清総代が縄の残りを市場常会に確認す

(5) 「金の御幣」に生じる自己負担があれば、これを常会が負担すること。

了承。行事場所は集会所とす

2. 今後の検討の中で早めに決めたいこと

(1) どのような奉納行事をするか

六神儀などの楽奏は同好会が担う。

六神儀、獅子舞、神輿担ぎは、同好会が実施する（決定済み）が、楽打ちは不透明
それ以外の従来の奉納行事を従来どおり実施してもらいたい ← 総代側の意向？

将来の人口減 （団塊世代の消滅）
例大祭に対する関心の低下（関心や娯楽の多様化） ← 花の減少
本当屋に全部負担させる仕組みの問題 → 改善案の提示

本日は、別添資料に基づいて奉納行事の中身を検討したい。

H16 年（大坪）、H24 年（駅組）の時の行事内容を示す資料を配布した。参加者に、次回までに具体的な行事内容を固められるよう検討を依頼し

(2) その上で今後決めたい事項（成清総代の提案）

ア. 早めに決めておきたい役割分担（案）

前夜祭帳場 当屋 3 名（本当屋 2 名）

楽打ち頭領 当屋 2 名（本当屋 1 名）

神前書記 当屋 3 名（本当屋 2 名）

成清総代が巫女と楽打ち頭領の候補者を当てることになった。

イ. 8 月の当屋寄り迄に決めた方がよい。（当屋寄りで役割表を提示）

人数不足の役割については、当屋の他の常会、あるいは他の地区へ依頼する。

・巫女の舞い（4 名）：瀬谷を参考に依頼する。指導者は居る。

内容不明 楽打ち奉仕者（最低 10 名）、べ胴担ぎ奉仕者（2 名）、べ胴打ち奉仕者（2 名） 笛吹き奉仕者（最低 2 名）、鐘うち奉仕者（最低 2 名）、扇輪（うちわ）切り奉仕者（最低 2 名）、小太鼓奉仕者（若干名）、手拍子奉仕者（若干名）

(3) 行事内容を固めてから必要な資材、役務、供え物などの数量と金額を固めるのが基本

その他、これまでの経験などからいろいろな意見が出た。
中の村の子供（幼稚園～小学生）の人数は 11 人とのこと。
次回は 4 月 14 日（日）8 時半～、集会所